

行政評価の点検及び評価後の取組について

点検事項	取組内容
地震、津波、洪水の被害想定については詳細であるが、近年の気候変動により、台風の大型化で高潮被害の可能性も高まっている。 特に津屋崎地区は広範囲に被害が及ぶ可能性があり、避難所も洪水浸水想定区域に含まれているので、更なる対策が必要。	ご指摘のとおり、近年の気候変動による災害が、激甚化、頻繁化しています。このことから市では令和6年2月、A4判からB4判に防災マップを改訂し見やすくしました。 また、洪水浸水想定区域などの最新情報や避難行動に役立てていただくようタイムラインを掲載しています。平時から、市一斉防災訓練や出前講座などで防災マップなどを活用して、自分の住んでいる地域の被害想定や、各家庭での日ごろからの備えなどを周知し、予防、減災、防災に努めていきたいと思います。
どの市民へも届く情報発信が重要。その中で、SNS を活用したプッシュ型にウエイトを置いてみてはどうか	ご指摘いただいたプッシュ型通知については、ご指摘のとおり、市も重要視しています。プッシュ型通知については、すでに市も取り組んでいますが、その取り組みを徹底していくとともに、一方で、煩わしいとの声もありますので、プル型通知とバランスをとりながら、市民一人一人が情報を必ず入手できるように、災害時の情報発信に努めてまいります。
中学生を防災推進員にしてはどうか	中学生を地域防災推進員のターゲットへとの助言につきましては、中学校と防災について協議を行い、防災訓練などの取り組みに理解を示していただきましたが、一方で学校行事や部活動、塾や習い事等で忙しい生活を送っていることから、定期的な防災訓練や防災学習で留めてほしいとの意見もありました。市では今後も、災害時、中学生の取り組みは重要課題の1つととらえ、防災啓発や防災訓練へ積極的に取り組んでまいります。
消防団が消火だけでなく、防災や人命救助、地域の安心安全を守る活動を積極的に紹介することを、工夫を重ねて継続してほしい。	消防団の活動については、これまでもホームページ、広報紙で紹介しています。 また、消防団は、出初め式、防火啓発パレード、福津市一斉防災訓練に加え、イオンモール福津と日蔭野6区の共催で行われた防災デーなどでも、積極的に参加されています。消防団が地域の防災の要でもあり、大切な存在であることを知ってもらうために、市は今後もさらに消防団の活動など周知啓発していきます。